

事務事業名		後期高齢者歯科健康診査		☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	09 生涯にわたる健康づくりの推進		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成27 年度～)	
	基本事業名	03 健康診査体制の充実		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目	
所属	部課名	生活福祉部健康推進課		会計	款
	課長名	菅原 松子		項	目
	係名	成人保健係	電話	0192-27-1581	事業
	担当者	小西 寛	内線	-	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		・前年度75歳になった大船渡市の被保険者を対象に、岩手県後期高齢者医療広域連合と共同で実施する歯科健康診査。事業実施にあたり、岩手県歯科医師会に健診業務を委託する。 ・主な業務は、岩手県歯科医師会との委託事務、岩手県後期高齢者医療広域連合との連絡調整及び情報提供。 ・対象者通知は、岩手県後期高齢者医療広域連合が一括して作成し、歯科健康診査事務費として市が負担金を納入する。 ・事業費は、岩手県歯科医師会に対する委託料、岩手県後期高齢者医療広域連合に対する負担金として支出される。		全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 健診の受診者数 人	
市内の高齢者を対象とした歯科健康診査。		イ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様。			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
前年度75歳になった被保険者。		名称 単位	
		カ 健診の対象者数 人	
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・高齢者が無料で歯科健診を受けることができる。歯科健診をとおして歯の健康に対する意識を向上させる。		名称 単位	
		サ 健診受診率 %	
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・高齢者の歯の早期治療・健康増進につながる。			

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円		145	145	155	155	155
			一般財源	千 円	147	74	73	78	78	78
			事業費計 (A)	千 円	245	219	218	233	233	233
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	100	150	150	100	100	100	
		人件費計 (B)	千 円	400	600	600	400	400	400	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	645	964	818	789	789	789	
⑤活動指標			ア	人	35	57	58	70	70	70
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	469	616	595	600	600	600
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	%	7.46	9.25	9.74	11.7	11.7	11.7
			シ							
			ス							

事務事業ID	1653	事務事業名	後期高齢者歯科健康診査
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

高齢者の歯の健康増進を目的として、平成27年度から開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

事業開始時期から特に変更なし。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特記事項なし。(対象者が限定されており、また事業が開始されて間もないため)

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 健診をととして高齢者の歯の健康増進につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 高齢者が無料で歯科健診を受診できる機会を提供し、歯の健康に対する意識を高めることができる。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 受診料を全額市が負担していることから対象の追加は難しく、現状通りでよいと考える。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 対象者全員に通知を送付し、また広報やホームページにも記事を掲載しているが、受診率向上のためにはこれらのほかにもラジオ等による周知も検討する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 高齢者が無料で歯科健診を受診できる機会には他になく、今後も事業を継続していくのが妥当と考える。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現状でも最小限の事業費であるため、削減は難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 現状でも最小限の事務量であり、所要時間削減はできない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 年度ごとに一定年齢の対象者が定められており、公平である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	一層の成果の向上を図る必要がある。